スポーツ選手が大学生競技選手の購買行動に与える影響

スポーツマネジメントゼミナール 1313019 小川凌

1. 研究動機・研究目的

近年、野球やサッカーなどの競技を中心に、多くのスポーツ選手が企業とスポンサー契約を結び、商品の宣伝を行っている。

スポーツ選手が商品推奨者として消費者の購買行動に及ぼす影響についての研究には、スポーツ飲料水を商品として用いて調査を行ったものがあり、スポーツ選手は推奨者として消費者の購買行動に影響を与えるとされているが、スポーツ選手が商品の推奨者としてではなく、普段の生活で自ら好んで使用している商品について、それを見た消費者の購買行動に何か影響を与えるのかについては明らかになっていない。

人気のあるスポーツ選手が「スポーツとは関係のない別の場面で身につけている(使用している)、あるいは身につけていた(使用していた)商品」に着目し、スポーツ選手の行動は消費者の購買行動に何らかの影響を及ぼすのかを明らかにすることを目的とする。また、スポーツ選手が消費者の購買行動に与える影響力は、選手の人気や消費者の性別、消費者の専門競技によって違いがあるのかを明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

【事前調査】: スポーツ選手の人気に関する調査

- 1. 調査対象者: 2016 年度前期にスポーツマネジメント総論を履修していた 87 名の学生
- 2. 調査期間:2016年7月15日(金)と2016年7月16日(土)の2日間
- 3. 調査票の回収方法: Survey Monkey を使用しweb 上で集計
- 4. 調査項目:1) 個人的属性と2) 好きなスポーツ選手に関する項目
- 5. 分析方法: SPSS 12.0 を用いた単純集計

【本調査】: スポーツ選手が消費者の購買行動に与える影響に関する調査

- 1. 調査対象者: 蹴球部、野球部、フットサル部、ハンドボール部、バスケットボール部 に所属している学生で、事前調査に回答していない学生
- 2. 調査期間:2016年10月5日(水)~2016年の10月21日(金)
- 3. 調査票の回収方法: Survey Monkey を使用しweb上で集計
- 4. 調査項目: 1) 個人的属性と 2) 商品認知、3) 購買意図、4) スポーツ選手が使用 していたことを知っていたか、5) スポーツ選手が使用していたことを知 り購買意図はどのように変化したか、6) その商品の使い道について
- 5. 分析方法: SPSS 12.0 を用いた単純集計

3. 主な結果と考察

【事前調査】

好きなスポーツ選手上位3人:イチロー選手、錦織圭選手、本田圭佑選手

【本調査】

スポーツ選手が商品を着用・使用していたことを知り、その商品が「欲しくなった」と回答した学生の方が「欲しくなくなった」と回答した学生よりも多いという結果になったことから、スポーツ選手の影響力は消費者の購買意図が「欲しくなくなる」方向ではなく「欲しくなる」方向へ働きやすいと推察できる。

商品認知の段階で商品を「欲しい」と回答した学生の4割以上が「欲しくなった」と回答しており、「欲しくなくなった」と回答した学生1名以外は「変わらない」と回答していたことから、スポーツ選手は、初めて商品を認知しスポーツ選手が商品を着用・使用していたことを知る前から商品を「欲しい」と感じていた消費者に対し、「欲しくなくなる」方向へ影響を及ぼすことは少ないと推察できる。

購買意図の変化について、「欲しくなった」と回答した学生の数がスポーツ選手の人気順にはならなかったこと、1番人気の選手に関して「欲しくなくなった」と回答した学生が1番多かったことから、スポーツ選手の人気の差と消費者の購買行動に与える影響についての関係は見られないと推察できる。

商品が「欲しくなった」と回答した学生が女性よりも男性の方が多かったことから、女性よりも男性の方がスポーツ選手の影響を受けて購買意図が「欲しくなる」方向へ動きやすいと推察できる。

4. 結論

スポーツ選手は消費者に対して商品を「欲しい」と感じさせる影響だけでなく、「欲しくなくなる」影響も与え、男性の方がスポーツ選手の影響を受け商品が「欲しい」と感じるようになり、女性の方が購買意図についてスポーツ選手の影響を受けにくいということが明らかになった。また、すべての商品においてどの部活動でも購買意図の変化に大きな差が見られなかったことから、スポーツ選手の影響は消費者の専門競技と関係がないということが明らかになった。さらに、スポーツ選手の人気による差と消費者に与える影響は関係がないということが明らかになった。

5. 卒業論文の執筆を終えて

卒業論文の執筆を通して、調査方法について改善点が見つかり後悔している部分もあるが、自分の興味のあることを調べることができた。

アンケート調査にご協力してくださった皆さん、そして最後までご指導してくださった 小笠原先生に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。